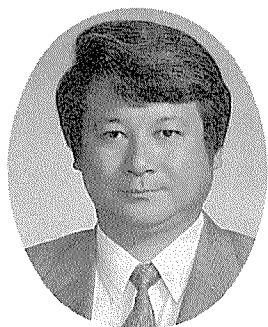


進化する会社づくり



明 間 重 遠

㈱明間ボーリング代表取締役社長

わが社は創業以来65周年目を迎え、私は3代目となります。世間ではよく、唐風で空家と書く3代目といわれ、自分の能力と立場を考えると恐怖に近いほど責任を痛感しています。しかし、社内には幸いにも有能で仕事熱心な社員が多く、救われているという思いがします。

私は秋田県北で全国有数の銅鉱山町に生まれ、父はその鉱山の探鉱事業の請負を、戦後無一文からはじめていました。早朝暗いうちから夜遅くまで働いている後ろ姿をみて育ちましたが、大変苦勞しているのは子供心にも解りました。仕事関係、資金繰りの苦勞が多かった頃と比べて、会社規模も事業内容もこれほど発展するとは、当時からすれば夢にも思わなかったことです。

大学は今思えば、理工系に進めれば良かったと悔やんでいます。元々頭が情緒的で数理的判断に欠けていましたので、文科系にしました。卒業後1年間、ボーリングマシンメーカーの工事部門に研修のため勤め、その後わが社に帰ってきました。もともと野山が好きで自然に浸れることを願っていましたので帰るのには抵抗ありませんでした。優秀な社員に恵まれている事に感謝せずにはいられない気持ですが、お得意様に良い仕事をするためにも、今後は社員の能力をもっと引き出せる会社作りを目標に考えています。

プロフィール

- ・昭和25年生 43才
- ・昭和48年 明星大学人文学部卒
- ・平成4年 ㈱明間ボーリング
代表取締役社長
- ・趣 味 多趣味、どれも物にならず
無趣味と同じ。
- ・家 族 妻、娘、息子の4人家族